



体験した学校からの声

<p>自然環境の保全や再生、野生動物との共生を学ぶ</p>	<p>当時の人の技術力や、時代背景について詳しく学ぶ</p>	<p>地域へ積極的に関り、助け合うことの大切さを学ぶ</p>
<p>動物や植物のお世話を するようになった!</p>	<p>身近な事に興味を持ち 調べるようになった!</p>	<p>地元の行事に参加したり 挨拶をするようになった!</p>

持続可能な社会づくりの担い手となる人材を育てる!

そのための一歩が「奈良SDGs学び旅」から始まります!

奈良新しい学び旅推進協議会

〒630-8305 奈良市東紀寺町2-10-1

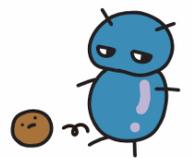
☎ 0742-22-1588 ☎ 0742-22-1503

<https://nara-manabitabi.com>

✉ manabi-jimukyoku@kirsite.com

協議会構成団体

奈良商工会議所/奈良教育大学/奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合/奈良県ビジターズビューロー/奈良市観光協会/奈良県/奈良市



奈良から始まる 新しい学び旅のスタイル



東大寺コース



ならまちコース



春日山原始林コース

奈良新しい学び旅推進協議会



課題解決力を育む 新しいスタイルのラーニングツールリズム

主体的 対話的 深い学び

◎ 奈良の歴史・文化・自然にふれて発見!

● 国際交流・国際協力 ● 当時の新しい技術・技術革新 ● 多くの市民の賛同と行動の変化

奈良教育大学

日本で最初にユネスコスクールに登録された大学:奈良教育大学は、学校や地域においてESDを適切に計画し実践できる「ESDティーチャー」を認定している日本で唯一の大学です。

「奈良SDGs学び旅」はESDの最先端である奈良教育大学との連携でプログラム作りを進めています。



奈良で学ぶSDGs

奈良に来た方が必ず見学に行くのが東大寺の大仏様です。大仏様は752年に建立されましたが、その後2回も争いに巻き込まれて被災しています。しかし、その度に全国の人たちの協力で復興しています。一人一人の力は微々たるものですが、それが集まることで、不可能だと思われていたことを可能にしたのが当時の奈良の人たちです。私たち一人一人が小さな力を出し合えば、持続可能な社会の実現も可能になることを大仏様が教えてくれているのかもしれない。奈良には1300年前の建造物や仏像、伝統行事が受け継がれています。これらは観光資源であるばかりでなくSDGsを学ぶための教育資源でもあります。



奈良教育大学教授 中澤静男先生



旅マエ 予習

SDGs講義 (45分)



フィールドワーク実施前に奈良教育大学ESD・SDGsセンターの講師によるオンライン講義で学習ポイントを整理します。

旅ナカ 体験

ガイド付きフィールドワーク (120分)



約1,300年の歴史を誇る奈良の世界遺産3コースの中からガイドと共に1班8~10名の少人数で学びます。

旅アト 復習

学校交流型体験発表会



体験校同士で学んだ成果を発表、意見交換する「体験発表会プレゼンスタジアム」で学びを深めます。
※事前申込制(先着順)

歴史にふれる 東大寺コース

Q.東大寺の大仏様に込められた思いとは?

A.動植ことごとく栄えんことを欲す

東大寺の大仏様が造られた奈良時代は、天然痘や大地震、さらに唐や新羅との緊張関係など、大変な時代でした。このような時代をよりよくするために、聖武天皇は大仏様造りを呼びかけました。

聖武天皇の願いは743年に出された「盧舎那仏造願の詔」に「動植ことごとく栄えんことを欲す」と記されています。人間だけでなく生きとし生けるものすべてが栄える世の中にしたと願っていたことがわかります。

また聖武天皇は大仏様を造る際、大きな力(権力)で造るのではなく、民間の小さな力を集めて造るという方針を打ち出し、渡来人をルーツに持つ技術者や、行基の協力などもあり、のべ260万人の人々が協力したと記録されています。この精神は後の二度の戦乱による被災からの復興の際にも受け継がれました。

モデルコース フィールドワーク (120分) 南大門▶大仏殿▶鐘楼▶行基堂▶二月堂▶三月堂



まちにふれる ならまちコース

Q.ならまちの町並みやまちづくりを支えてきたSDGsとは?

A.まちのみんなが助け合うしくみ

元興寺は南都七大寺にも数えられ大変栄えていましたが、平安京への遷都以降一旦廃れました。極楽堂の曼陀羅信仰により再び活気を取り戻し市民とお寺が支え合う関係を築けたことや、「庚申さん」を供養する庚申講という集まりが市民同士のコミュニケーションを生み、まちのみんなが助け合う仕組みなどができたことが、ならまちが現在まで続く要因の一つです。それ以外にも近くの猿沢池周辺がお伊勢参りの宿場町として栄えたことで、ならまちに住み着いた人々により発展した様々な産業や工業が一気に栄え、このエリアが奈良の商工業の中心地となりました。

もう一つならまちの町屋の特徴に「奈良格子」という太くて間隔の広い格子がありますが、それはシカから家を守るだけでなく、シカを傷つけないという配慮から生まれたデザインです。

モデルコース フィールドワーク (120分) 元興寺▶御霊神社▶格子の家▶小塔院▶庚申堂▶奈良町資料館▶奈良町物語館▶にぎわいの家▶からくりおもちゃ館▶鎮宅霊符神社



※休館日でコースが変更になる場合がございます。

森にふれる 春日山原始林コース

Q.都市隣接・世界遺産の森で学ぶSDGsとは?

A.人やシカとも共生できる森を保全再生していく

県庁からも徒歩圏内の原始林にはシイ・カシ類の常緑広葉樹や、スギやモミなどの針葉樹の大木が非常に多く、太古の森の風景が残っています。一方、森の中には、所々日当たりの良い場所があります。この空間はそれまであった木が倒れるなどして空いたものです。ここには、本来生えてくるべき、シイ・カシ類ではなく、シカが食べないシダやナンキンハゼが生えています。特にナンキンハゼは、昭和初期に街路樹として植えられた外来種です。現在、春日山だけでなく、奈良公園全体で増えており課題となっています。また、それ以外の地表部分は植物がほとんど生えておらず、木々の根が露出している状態です。奈良県では古都奈良の貴重な財産である春日山原始林の持続的な森林更新を促し、人やシカとも共生できる森を保全再生することを目標に、研究者や市民団体と連携して保全活動を進めています。

モデルコース フィールドワーク (120分) 水谷神社▶水谷川▶洞の仏頭石▶月日岩▶倒木によるギャップ▶植生保護柵

